

(別紙) 令和5年度北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 委員等出席者の紹介</p> <p>3 座長及び副座長の選出 座長に池田潔氏、副座長に藤原賢二氏を選出</p> <p>4 議事</p> <p>(1)報告事項 ア 定住自立圏構想について イ 北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会について 事務局から説明</p> <p>(2)協議事項 第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの進捗・達成状況について 【質疑応答等】 (No. 1からNo. 6までの事業について)</p> <p>委員 地域医療連携室連携強化事業について、北はりま絆ネットの活用が毎年900件ずつ増えております。患者情報を共有することで住民が具体的にどういったメリットや効果として生まれているのでしょうか。</p> <p>担当 患者にとっては絆ネットで情報を病院間で連携することで、検査等が少ない回数で抑えられるというメリットを感じられていると思います。</p> <p>委員 児童虐待防止事業について、募集の中でプログラムを受けるための条件は具体的に何かあるのですか。</p> <p>担当 このプログラムは、暴言、暴力や無視をやめたいと望んでいるが辞められないという方が対象になっています。出席率が高く改善が見られる状況です。</p> <p>委員 虐待をしている認識がなく、自分の行動はしつけであり虐待ではないと思っている方も組み込めるようなプログラムを考えていただければありがたいと思います。</p> <p>委員 病院・病診連携事業について医療は生活インフラのなかで非常に重要だと考えます。実績値が増加していますが、医師の負担も増加していることが懸念されます。医師の負担のケアについての取組をお伺いしたいです。</p> <p>担当 医師の負担のケアについて、各病院において特別な取組は考えていないですが、働き方改革ということで勤務時間を正確に把握し、働きすぎにならないように勤務することが進んできています。</p> <p>委員 (No. 7からNo. 11までの事業について) 兵庫教育大学との連携講座事業について、今後とも引き続きKPIを達成できるようによろしくお願いいたします。</p>

委員	文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業について、次年度の課題にあるように3市1町でより交流を深めていただきたいです。現在は年に数回の交流のみですが、各市町で行っているスポーツ教室でも3市1町の住民が参加できるようにして一層交流が生まれるようにしていただきたいです。
担当	相互でスポーツ教室に参加できる体制は大切だと思いますので、検討したいと思います。
委員	北播磨地場産業開発機構支援事業について、実績が年々下がってきているのは、コロナの影響もあると思いますが、オンラインで開催することはできないのでしょうか。 また参加人数が実績値になっていますが、その結果としての播州織生産体制の確保に繋がっていると判断できるのか聞きたいと思います。
担当	オンラインでの開催も含めて、参加者のニーズを把握しながら柔軟に講演会等の開催の検討を北播磨地場産業開発機構に働きかけます。 成果指標（KPI）である講演会等参加者数についてですが、播州織の経営者や技術者を対象とした講演会や研修の参加者数を維持することで、播州織の生産体制の確保につながり、事業成果である播州織の活性化を図ることができると考えます。
委員	実績値が年々減ってきているのはコロナの影響だと思いますが、受講者にアンケートを取る等の満足度を高めてもらうような取組をしていただければと思います。
委員	(No. 12からNo. 17までの事業について) 例えば、広域防災対応能力強化事業について、家屋被害認定士数が初年度から引き続き目標値を達成しています。前年にも十分達成されている数字がそのまま5年間の目標値となっており、昨年一昨年に達成されている目標値に対して、今年度また十分達成しているという評価は妥当なのか疑問に思います。
担当	目標設定について期間中に再設定できるか事務局と検討していきたいです。
委員	広域備蓄体制整備事業について、実績値の内訳を教えてください。
担当	各年度の実績値は3市1町の平均値になっています。内訳は令和4年度については、多可町が2回、残り3市が1回で実績値1回、令和3年度については、加西市が1回、残りの2市1町が2回で実績値2回、令和2年度は3市1町が1回で実績値1回になっています。
委員	担当者が目標値について、設定時の意図が人事異動の中で完全に引継ぎできていないと感じます。設定時の意図をもう一度確認いただきたいと思います。
委員	近年ニュース等で、継続的に各地で洪水や土砂災害が起こっていますが、土砂災害が出た場合の対処法を聞かせていただければと思います。
担当	土砂災害の恐れがある場合、安全な所へ避難することが最も大切です。非難することが難しい場合は、洪水に関しても、一番被害が大きいのが建物の1階になりますので、上階に逃げるのが一つの対策になります。

	<p>やはり、早めの避難が一番大切だと思います。大雨についても、台風など事前に予測できるものについては、早めに避難情報を出しています。</p>
委員	<p>消防団員は、20代から30代の方がメインで活動されていると思いますが、もし事故にあった場合、保障はどうなっていますか。</p>
担当	<p>消防団は、非常勤の公務員という扱いになっています。不幸にして亡くなられた場合について、労災に匹敵するような補償がついております。</p>
委員	<p>地域によっては団員の方の確保が難しいので、機能別団員の方が活動をされていると思いますが、同じ活動をしている中で、年俸が機能別団員の方も一般の団員に準じるような額にならないのかご意見伺いたいと思います。</p>
担当	<p>消防団員の報酬につきまして、各市町で決めているため、お答えしにくいですが、そういったご意見について担当者間で共有したいです。</p>
委員	<p>広域防災対応能力強化事業について、集落での自助訓練等を年一回実施していますが、末端まで有意義な訓練等が行えていません。各市町村においても、集落における末端までの訓練等の計画、ご指導をいただけたらと思います。</p> <p>それと「健幸」推進事業について、参加された方から非常に有意義だと聞いたので、住民の方への周知にもう少し力を入れて、事業を推進していただけたらなと思っております。</p>
委員	<p>(No. 14 の事業の事業概要等について事務局から説明) 変更について何か意見はありますか。</p> <p><異議なしの声あり></p> <p>変更について承認します。</p>
委員	<p>(No. 14 の事業の実績値について) 救命講習受講者数は、参加者の合計が3市1町で430人なのでしょうか。</p>
担当	<p>実績につきましては、新型コロナの影響もございまして、3市1町の合計の数字となっています。</p>
委員	<p>コロナ前の実績値を教えてくださいと思います。</p>
担当	<p>平成26年度で受講者数が1,836人、平成27年度が1,857人、平成28年度が2,000人、とぶのですが、令和元年度は1,353人です。平成26年から平成28年度の実績値から目標値を算出しています。</p>
委員	<p>(No. 18からNo. 24までの事業について) 新型コロナウイルスも落ち着きまして外出需要が回復傾向にあるもののコロナ前の水準には戻っていない状況です。</p> <p>各市町おかれましては、コロナ禍に対してお支援に対して、この場を通じてお礼申し上げます。令和4年度におきましては、加東市においては、4月に路線バス等の運賃を一律100円にする定額運賃制度を導入しています。同じく10月には加東バスターミナルが供用開始されています。同時にhalK内の待合室にはバ</p>

	<p>スロケ表示機を設置されております。加西市においても、4月に市役所内や福祉会館等にあらたにバスロケ表示機を設置されております。いずれの自治体におかれましても、公共交通の利用環境の向上に努められております。これがバス事業、バスの維持に繋がっていることから進捗達成状況だけでなく内容についても評価できます。</p>
委員	<p>地域観光情報発信・誘客活動事業について、積極的に広域ということ意識され、事業があった時にはフットワーク軽く、活発に動いておられると思います。県の補助金を取る等の活動も上手にやっておられると思います。</p> <p>誘客活動は、100%成功するわけではないことご理解いただき、失敗する部分もあるが成功する部分もあるため、何かやらないことには伸びてこないことを意識していただいて、今まで以上に積極的に動いていただきたいと思っています。</p>
担当	<p>広域連携を意識しながら、お互いの良いところをPRしていき、広域として誘客できるように今後も進めて行きたいと思っています。</p>
委員	<p>人材育成事業で参加人数が毎年増えていくことで、職員間の交流だけではなく、このような会議も円滑に進むような様々なメリットがあると思います。人材育成事業の中で、3市1町で職員を相互の市町に派遣し合うことはされているのかお聞きしたいです。</p>
担当	<p>人事交流事業ということで市町間での職員の交流を考えております。違う市町に行き、行った先の市町の組織風土の中で新しい発見をすることや自分の市町のノウハウや行った市町のノウハウを相互に共有することは非常に有意義だと思います。一方で、仕事を置いて出向することは課題が多いということで、人事担当者間で協議をしてきました。結果として、令和5年度になり、協議が整ってきて、先日、各市町に受け入れ可能な部署の調査をかけて取りまとめをしている段階で、今度は出向したい職員の募集を、今後進めていきたい状況です。</p>
委員	<p>職員が相互に交流することで、自分の市町の強みや弱みが分かり、自分の市町に帰ってきた時に、非常に役立つと思うので、ぜひ実現してほしいと思います。</p>
委員	<p>広域幹線道路整備推進事業について、要望活動として各市町で連携するとありますが、具体的にどのような活動をされたのか、お聞かせいただけますか。</p>
担当	<p>各市町と北播磨県民局で行う土木事業調整会の中で市町長から県民局長に対して要望しています。</p>
委員	<p>連携路線についてあまり進捗がないように感じています。連携が必要な大きな路線は既にほとんど出来上がっています。狭い道の拡幅や歩道の整備が一部進んでいることは分かるのですが、一市町で県民局に要望されているということは、他の路線も含めた要望になってしまいます。もし、地域連携として進められるのであれば、もう少し具体的に取り組んでいただければと思います。</p>
委員	<p>最後に少しお話させていただきたいと思いますが、実はアメリカのシリコンバレーのキーワードが「競争と協調」です。シリコンバレーは「競争と協調」があったため、半導体で世界のトップになれたと経営学の先生が言われています。定住構想では協調が頭の中にあるかもしれないですが、一方でお互い競争することがすごく大切です。意識されている部分もあると思うのですが、協調もしながらお</p>

互いが競争もする形で進めていただけたらと思います。

5 その他

- ・今後のスケジュールについて

6 閉会

- ・副座長挨拶